

# むすんで ひらいて

第52号  
発行日  
令和5年3月

発行：福井市地区社協連絡協議会  
〒910-0018福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階  
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)  
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

◆福井市社協のホームページからバック  
ナンバーをご覧いただけます



私たちのこころのこもったお弁当を、はい、どうぞ

一乗  
地区



市内49地区社協では、食事サービス事業を行っており、地区の高齢者の方へ見守りを兼ねてお弁当をお届けしています。一乗地区では、新型コロナの影響で令和2、3年度は業者弁当としていましたが、令和4年度から手作りのお弁当を再開し、年2回食事サービス事業を実施しています。

令和5年2月16日(木)、この日も前日から買い出しや準備を行い、福祉委員やボランティア総勢10名で朝からお弁当作りを行いました。食材は皆さんで持ち寄っており、必ず一品は地域の伝承料理を取り入れ、食文化を継承していくことも大切にしているそうです。

お弁当を受け取ったお年寄りは、「楽しみに待ってたわ」「かわいらしいお弁当、ありがとうございます」と笑顔で受け取っていました。

事業に携わった一乗地区社協の橋本さんは、「お年寄りの方は手作り弁当だとなお喜んでくれるので早く再開したかった」「コロナや大雪などがあっても、中止しよう、ではなく、もっと頑張ろう」と活動していくことが大切、「皆で献立から考えることで、楽しみながらできるし福祉委員のコミュニケーションの場になっており一体感も生まれる」と話していました。また、朝倉副会長は、「簡単なことではないから継続して、支え合い作りをしていくことが大切」、「この気持ち地域に広がっていくと嬉しい」と熱く語ってくれました。

「コロナや大雪など、環境の変化があっても工夫しながらつながり絶やさない取組みを継続できるよう、地区社協連協としても引き続きバックアップしていきます。」



## 見守り活動に関する研修会開催



### 「みんなの「楽しかった〜！」が生まれる地域福祉活動



講師 NPO法人ハズオン埼玉 常務理事 西川 正氏  
開催日 令和4年11月28日(月)  
参加者 86名

地区社協役員の方々を対象とした見守り活動に関する研修会を開催しました。今回の研修会では、楽しく地域福祉活動に参加できる視点や新たな仲間を誘うコツを学びました。

研修では、輪になって交替しながら1分間ずつ話していくトークフォークダンスなどの演習も取り入れ、「自分の人生で出会えて良かったと思う人は?」「幸せとは?」などのお題をもとに、初めて顔をあわせる多くの方と言葉を交わし、会場内は終始笑い声が絶えませんでした。

研修前は緊張していた参加者の皆さんも、終了後は笑顔になられ、「遊び心の大切さを知った」「話すことが苦手はどうしようと思っていたが、いろいろなお話しができてとても楽しかった」「トークフォークダンスを必ず今後実施したい!」などの声が聞かれました。テーマのとおり、皆さんの「楽しかった〜!」という声がたくさん聞こえてきた研修会となりました。

地区社協連絡協議会では、今後も地域の皆さんが笑顔になれるような講演会や研修会を企画し、地域福祉活動の大切さを広めていきます。

#### トークフォークダンスの方法

- ♥ 円を描くように椅子を並べ、向かい合わせになるように外側と内側の円をつくる。
- ♥ 外側と内側の人が向かい合い、お題に沿って1分間ずつ対話する。
- ♥ 外側の人が左回りに移動し、次のペアとお題に沿って話し合う。



#### お題の例

「好きなおでんの具は?」「自分のいいところは?」……  
一見簡単なようにみえますが、とても盛り上がります。  
地区の活動(デイホーム等)でぜひご活用ください!

## 動画で学ぶ「楽しみながら かかわる支援のあり方」

### ～福祉委員スキルアップ研修会開催～

令和4年9月27日(火)、県自治会館において福井県立大学の吉弘淳一教授による福祉委員スキルアップ研修会「楽しみながらかかわる支援のあり方」を開催しました。この研修会は、福祉委員による見守り活動の充実を目的に、市社協と共催で開催したものです。

講義では人と関わるときのポイントや心の持ち方など、わかりやすく楽しくお話いただきました。演習では講師の出したお題目について隣席の2~3人で会話しながら自らの経験や気持ちを語り合い、笑顔溢れる研修会となりました。

研修の様子は、福井市社協のYouTubeチャンネル「ふくみんチャンネル」で公開しており、どなたでも視聴できます。地区での研修会等にもぜひご活用ください!動画の所要時間は81分、令和6年3月31日まで配信しています。



#### 動画の視聴方法



YouTubeで「ふくみんチャンネル」と検索するか、こちらのQRコードを読み取りご覧ください!

第1弾は「福祉委員活動について」(約8分)を配信し、福祉委員の活動内容や活動におけるポイントを動画でわかりやすく説明しています。そちらもぜひご覧ください!

# 令和4年度 福井市地区社協連絡協議会連絡会・研修会開催

■開催日 令和5年1月23日(月) ■参加者 86名

福井県自治会館において、各地区社協の役員等が参加し、福井市地区社協連絡協議会 1月連絡会及び研修会を開催しました。

今回の研修会では、「地区住民の力を引き出すための地域福祉活動」をテーマに、円山地区社協、日之出地区社協の2地区がそれぞれの地区社協活動を発表しました。各地区とも、地域の実情に合わせた先進的な取り組みがなされていて、新たな気づきや発見がある場となりました。

## 円山地区社協

### 「お買い物サポート・便利帳について」

野村八重子会長・笹嶋浩子福祉委員



円山地区社協では、地区内の買物について、何らかの支援を行っているお店や、バス・乗合タクシーなど移動に関する情報をまとめた「お買い物サポート・便利帳」を作成しました。今回の取り組みにより、福祉委員と地域の人々が直接顔をあわせ自然と言葉を交わすことで、「地域のつながりづくり」の第一歩となり、活動した福祉委員自身も知識が増え、地域の見守りに繋がったなど変化があったようです。高齢者にとって、何が不自由なのか、何を必要としているのか把握し、いろんな人たちと連携し、支え合いの輪を広げたいと話がありました。



## 日之出地区社協

### 「日之出地区ウィークデー防災訓練」

黒川義規会長・吉川幸枝副会長

日之出地区では、令和4年10月25日(火)、地域の大人と学校・PTAが連携した「ウィークデー防災訓練」を開催しました。この取り組みは、日之出地区自主防災組織連絡会を中心に平成28年から平日日中の地震発生を想定した訓練を開始、しかし子どもの姿がないことが課題になり、29年から小学生の下校時にあわせて訓練を開始したものです。

本番当日は、福祉委員の「地震だー！」という掛け声のもと、子どもたちが身を守る行動をしました。

その後、最寄りの安全な避難場所への誘導も福祉委員を中心に行います。今回は天気にも恵まれ、トラブルもなく訓練を終えることができました。子どもたちも真剣な表情で訓練を行っていました。

黒川会長は「来年は一般の住民も含めて地域全体で取り組みを続けていきたい」と話していました。



# 地区社協の活動と取り組みを紹介いたします

## 春山地区

### 「地域共生社会」の実現に向けて

春山地区内は、県立美術館、市立図書館、フェニックスプラザ（福井市社会福祉協議会）、福井大学などのある文教地区となっております。又、春山2丁目には橋本左内先生の生誕地跡もあり、毎年4月には生誕祭がおこなわれています。

地区防災訓練「や春山地区社協が共催となり「春山地区防災セミナー」を行いました。



春山地区社協の活動も「コロナ禍の中で満足に行われませんでした。特に、公民館祭りと同時に開催していましたが「福祉まつり」は3年間行うことが出来ていないのが残念です。しかし、民生委員を中心に一人暮らし高齢者の皆さんに年5回の弁当の宅配は継続しています。これは安全確認もかねています。

12月の弁当宅配では、毎年「さくらじごうかん」の子どもたちが作った小さなプレゼントも一緒に届けます。高齢者の皆さんはとても喜ばれます。

近年、全国的に自然災害が多発しています。春山地区では公民館の呼びかけで「春山



地区では公民館の呼びかけで「春山

令和4年11月13日、春山小学校体育館での「防災セミナー」では、(社)日本災害看護学会の酒井明子理事長による「高齢者の防災対策」南越前町災害から学ぶ」と題しての講義がありました。

「南越前町の災害時では、あらかじめ避難する水位を決めていたことから、早めの避難につながった」など、実践に基づいた話をいただきました。しかし、課題があります。高齢者や障がい者の避難が大変だと。これからは「福祉避難所」の設置や充実を考えなければいけないと話されました。なお、このセミナーは春山地区自主防災会連合協議会が主催し、春山地区社協、地区婦人会など多くの皆さんの協力がありました。

国の呼びかけで地域共生社会の実現が求められています。われわれも福祉とは何かを考えて、多くの人たちと協力し、地域共生社会の実現を目指そうではありませんか。

春山地区社会福祉協議会

副会長 大島 友治

## 東安居地区

### つながる ひろがる

### 地域福祉の輪(和)



東安居地区は、福井市の西部に位置し、大型ショッピングセンターがあるかたわら、園芸生産団地を形成するビニールハウスや水田、新興住宅地と混在した街並みが広がる地区です。近年、新興住宅地の占める人口の割合が多くなっていることや、少子高齢化が進んでいることが問題となっています。

男女問わず楽しみ、交流ができました。今後、地域の中で住民同士の助け合いや交流から、人とのつながりを大切にお互いを思いやり支え合う心を育くむよう、地域福祉活動を歩ずつ進めていきたいと思えます。

東安居地区社会福祉協議会

会長 竹内 清

この数年、コロナ禍の影響を受け、参加される方も少なくなってきましたが、様々な制限のある中、工夫を凝らし、活動を続けてきました。月1回の食事サービス事業は、外注のお弁当に切り替え、大規模だった敬老会は少人数制の「米寿を祝う会」に変更、児童館・児童クラブと連携している世代間交流事業は、「高齢者と児童のオンライン交流」やビデオメッセージにするなど、これまでのつながりを絶やすことなく、活動を続けてきました。通年継続している「おたより運動」は、敬老の日に対象者(800名)に小学生や中学生による手作りメッセージカードをお届けし、大変喜ばれています。



小学生・中学生の  
手作りの  
メッセージカード

スケルトンさん手作りの  
お弁当の表紙カバー  
です

さらに、令和4年度は、少しでも多くの方が参加できるように、自治会型デイホーム事業で、ニースポーツのモルックを各公園などで実施し、老若

公園にてモルックで交流

